

TSMC周辺自治体の固定資産税収入の推移

1 合志市、大津町、菊陽町の固定資産税収入

TSMC熊本工場が立地する菊陽町および隣接する大津町、合志市の固定資産税収入は、2024年度は前年度比3.4～15.5%増加した。地価の上昇などが背景にあり、特に菊陽町の伸びが大きかった。2024年12月に量産を開始した第1工場の製造設備など償却資産の増加が影響したとみられる。菊陽町は2025年度も固定資産税が大幅に増える見込みで、国からの普通交付税を受けない「不交付団体」となった。新型コロナの影響がなかった2018年度と比較すると、菊陽町が28.8%増、大津町24.9%増、合志市20.8%増となっている。

3市町の固定資産税収入

自治体名	2024年度 (100万円)	2023年度 (100万円)	増加率 (%)
合志市	3,279	3,172	+3.4
大津町	3,273	3,156	+3.7
菊陽町	4,520	3,914	+15.5

3市町の固定資産税収入の推移

(2018年度=100として指数化)

以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより
アクセスをお願いします。

ご入会はこちらから

(入力は数分で終わります)

会員の方はこちらから